

土砂災害・洪水ハザードマップ 利活用説明資料



令和3年 3月

目次

1. ハザードマップについて
2. ハザードマップ利用の手引きについて
3. 避難経路の記入方法
4. 地域で実施して頂きたい事
5. ハザードマップ閲覧WEBシステムの紹介

目次

1. ハザードマップについて
2. ハザードマップ利用の手引きについて
3. 避難経路の記入方法
4. 地域で実施して頂きたい事
5. ハザードマップ閲覧WEBシステムの紹介

目的

今年度、瑞浪市が作成し配布するハザードマップは以下の2種類があります。ただし、洪水ハザードマップについては、浸水想定区域にかかる地区のみを対象としています。

・土砂災害ハザードマップ

土砂災害ハザードマップとは、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域を地図上に表示したもので、日ごろから土砂災害のおそれのある場所や避難場所などを確認し、災害時の避難行動に役立てていただくことを目的とします。

・洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップとは、水防法に基づく「想定し得る最大規模降雨（1,000年に1回程度発生すると想定される大雨）による洪水浸水想定区域図」を基に地図上に表示したもので、大雨によって万が一、河川が氾濫した場合に、浸水するおそれのある場所を確認し、大雨時の避難行動に役立てていただくことを目的とします。

土砂災害ハザードマップ

・土砂災害警戒・特別警戒区域について

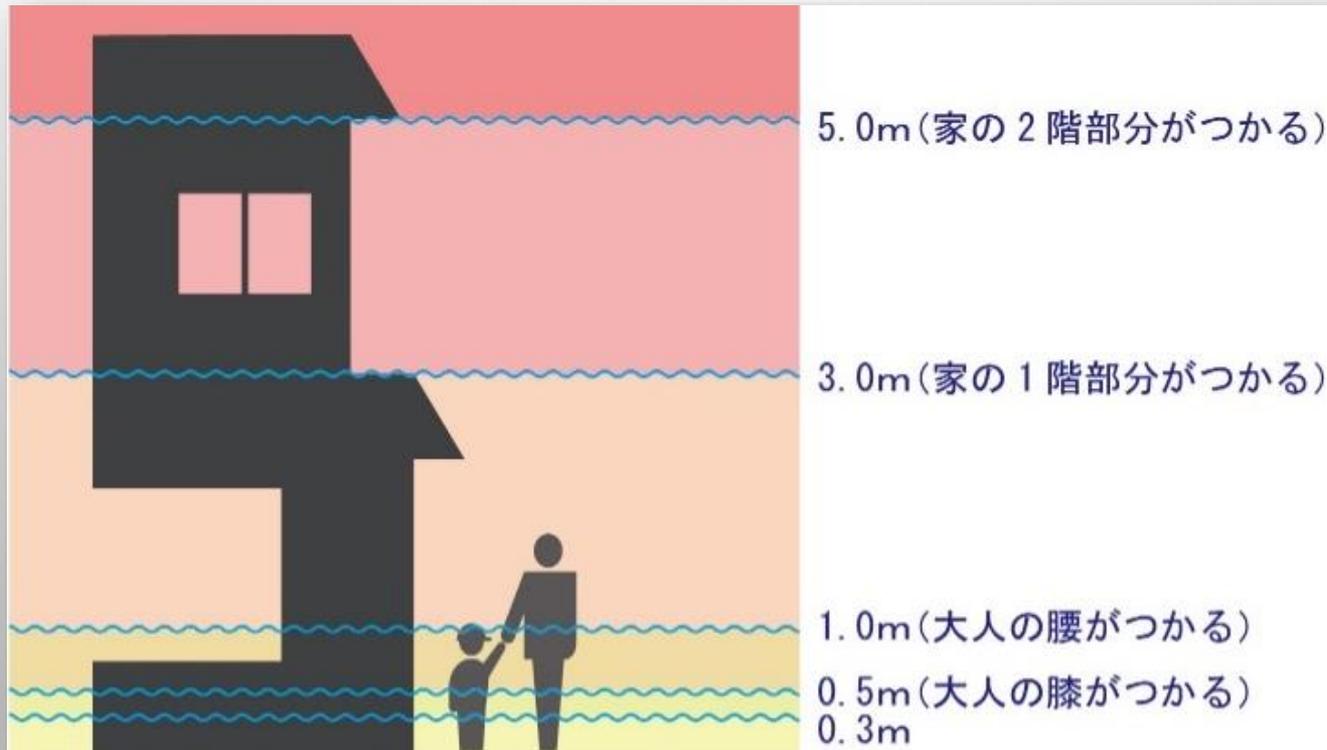
土砂災害ハザードマップでは下図のように土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、そして地すべり危険箇所・防止区域を以下のように色分け表示しています。

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)	土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)	地すべり区域
土石流 	土石流 	危険箇所 
急傾斜 	急傾斜 	防止区域 

洪水ハザードマップ

- ・ 浸水想定区域について

洪水ハザードマップでは下図のように浸水する深さによって色分け表示しています。



目次

1. ハザードマップについて
- 2. ハザードマップ利用の手引きについて**
3. 避難経路の記入方法
4. 地域で実施して頂きたい事
5. ハザードマップ閲覧WEBシステムの紹介

手引きについて

配布するハザードマップとともに、災害についての説明や行動指針、防災メモを載せた「ハザードマップの手引き」を同封しています。こちらを利用していただくことで、災害についての知識を深め、防災減災意識を向上していただくことができます。

表面

①

②

③

裏面

④

⑤

©令和2年印刷時点のものです。掲載内容より変更となる場合があります。

手引きの記載内容について

1. 土砂災害について

レッドゾーン、イエローゾーンについての説明と土砂災害の種類についての説明が記載されています。

土砂災害について

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

建物が破壊され、住民に大きな被害が生じる恐れがある区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずる恐れがあると求められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

- 特定の開発行為に対する許可制
住宅地分譲や、老人ホーム、病院など災害時要援護者関連施設の建築を行う場合の開発行為には許可が必要です。
- 建築物の構造規制
想定される衝撃に対し、建築物が安全であるかどうか建築確認がされます。
- 建築物の移転勧告
著しい損壊が生じる恐れのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。なお、移転される方には融資や資金の確保などの支援措置があります。

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

土砂災害の恐れがある区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

- 警戒避難体制の整備
土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られます。

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる自然現象

【前兆現象】

- ・ がけに割れ目が見える
- ・ がけから水がわき出ている
- ・ がけから小石がバラバラと落ちてくる

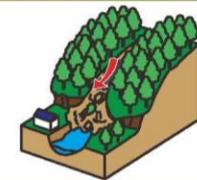


土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る自然現象

【前兆現象】

- ・ 急に川の流れが濁り流木が混ざる
- ・ 山なりがする
- ・ 雨が降り続けているが川の水位が下がる



地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す自然現象

【前兆現象】

- ・ 沢や井戸の水が濁る
- ・ 地面にひび割れができる
- ・ 斜面から水がふき出す



手引きの記載内容について

2. 水害について

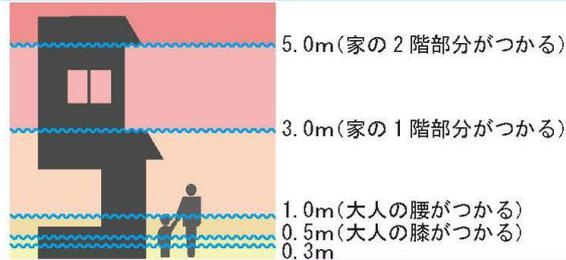
浸水想定区域と、家屋倒壊等氾濫想定区域についての説明が記載されています。

水害について

浸水想定区域（想定最大規模降雨）

河川が氾濫したときに大きな被害が生じるおそれがある区域

想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定範囲と浸水想定深さを示しており、万が一河川が氾濫し、洪水が予想される際には速やかに避難が求められる区域です。



! 浸水想定区域に指定されていない区域においても状況によっては浸水が発生する恐れがありますのでご注意ください。

家屋倒壊等氾濫想定区域

氾濫流・河岸浸食により家屋等が流出・倒壊の恐れがある区域

想定し得る最大規模の降雨により近傍の堤防が決壊した場合に家屋が流出や倒壊する恐れのある区域です。

氾濫流

氾濫した水の力により木造家屋が流出・倒壊する恐れがある区域です。



河岸浸食

堤防が侵食し、地面が削られることで家屋が建物ごと崩落する恐れがある区域です。



手引きの記載内容について

3. 気象情報と避難行動について

台風や豪雨の際に、とるべき避難行動の内容やタイミングについての説明が記載されています。

！ 気象情報と避難行動について

台風や豪雨などの際には、気象情報に注意し、少しでも危険を感じた場合、早めの避難行動をとりましょう

河川の水位	河川情報	気象情報	災害の状況	行動をうながす情報	住民がとるべき行動	警戒レベル
氾濫発生	氾濫発生情報	大雨特別警報	災害発生 または切迫	災害発生情報	命を守るための 最善の行動をとる	5
氾濫危険水位	氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報	災害の恐れ高い	避難指示（緊急） 避難勧告	危険な場所から 全員避難完了	4
避難判断水位	氾濫警戒情報	大雨警報 洪水警報	災害の恐れあり	避難準備・ 高齢者等避難開始	危険な場所から 高齢者等は速やかに避難	3
氾濫注意水位	氾濫注意情報	大雨注意報 洪水注意報	気象状況の悪化		ハザードマップ等で 避難行動を確認	2
水防団待機水位		早期注意情報	今後気象状況 悪化の恐れ		災害への心構えを 高める	1
平常水位						

※令和2年度現在のものです。法改正により変更となる場合があります。

手引きの記載内容について



4. 私の行動計画と情報の入手

ハザードマップを活用して、「有事の際、自分たちがどのように避難し、身を守れるか」を検討していただくためのワークの作業手順を示しています。

私の避難行動計画と情報の入手

自宅から避難場所までの避難経路を確認しましょう

ハザードマップを確認し、自分と家族の身を守るための安全な場所へ避難するため、ハザードマップ上の「私の避難行動」欄にも必要な情報を記入しながら行動計画を立てましょう。

作業手順

- ① ハザードマップで、自宅の位置を確認し、「○」印等をつけましょう。
- ② 自宅が土砂災害や水害の危険があるかどうか確認しましょう。
※土砂災害は『土砂災害ハザードマップ』の土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、地すべり指定地、水害は『洪水ハザードマップ』の浸水想定区域を確認します。
- ③ 安全に避難できる場所を決めて「□」印等をつけ、「私の避難行動」にも記入しましょう。
避難する場所はハザードマップ上で着色がなく、水害や土砂災害の危険がないもしくは危険が少ない箇所を選びましょう。
※瑞浪市が指定する避難場所以外を選択した場合は、災害発生時に本当に避難できるか確認してください。
また、瑞浪市が指定する避難場所でも、災害によっては使用できない場所がありますので注意してください。
- ④ 避難場所が決まったら自宅から避難場所まで安全に避難できる経路を記入します。
- ⑤ 避難する際に声かけが必要な方や、一緒に避難する必要がある方がいる場所に「△」印等を記入しましょう。
- ⑥ 避難を開始するタイミングを空が明るい昼間と空が暗くなる夕方以降で決めて、それぞれ「私の避難行動」内に記入しましょう。

私の避難行動 ※記入方法は冊子の「手引き」を参照してください

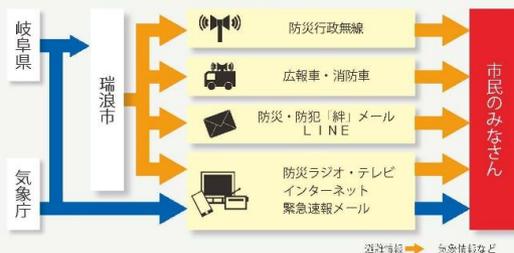
1. 自宅の場所を確認しハザードマップにマークしましょう。
2. 避難するタイミングを確認し下の枠に記入しましょう。
昼間 (空が明るい時)
夜間 (空が暗い時)
3. 避難する場所をハザードマップにマークしましょう。また、下の枠にも避難する場所を記入しましょう。
避難場所 (安全な場所、公園、学校、公民館、福祉センター、道の駅)
4. 避難ルートを手引きのワークに記入しましょう。

⑥で決めた避難のタイミングをそれぞれ記入する

③で決めた避難場所を記入 (左の場合、「福祉センター」)

! 自家用車での避難は控えましょう
 ・逃げ遅れたときは、丈夫な高い建物に逃げましょう
 ・土砂災害時には土砂が流れる方向とは直角に逃げましょう
 ・洪水時にはハザードマップの矢印の方向に逃げましょう

情報の伝達と入手について



気象情報・河川水位などの情報を、パソコンなどでリアルタイムに確認しましょう
 同時、変化する気象状況や河川水位に注意し、自ら情報取得を心がけましょう

◆気象庁ホームページ
<https://www.jma.go.jp/>



◆岐阜県総合防災ポータル
<https://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/>



防災・防犯「絆」メール / LINEを登録しましょう

気象警報や避難勧告などの「防災情報」や「防犯情報」を、防災・防犯「絆」メール、LINEで取得しましょう

◆防災・防犯「絆」メール
 「t-mizunami@sg-m.jp」に、空メールを送信。
 また、右記のQRコードからも登録できます。



◆LINE
 アプリ大のホーム画面で「瑞浪市」と検索し、友だち登録。
 また、右記のQRコードからも登録できます。



手引きの記載内容について

5. 我が家の防災メモ

有事の際の連絡行動や、日ごろから備えておくべき物のチェックリストとして利用いただけます

我が家の防災メモ

家族で話し合ってから下の表に記入しましょう

避難場所
(大雨時) ☎() - (地震時) ☎() -

離れ離れになった時の集合場所

家族の名前	連絡先	会社・学校の連絡先	メモ

避難時の持ち出し品チェックリスト

- 貴重品**
- 現金(小銭を含む) ※公衆電話用10円玉、100円玉
 - 車や家の予備鍵
 - 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど
 - 銀行の口座番号、生命保険契約番号など
 - 健康保険証
 - 身分証明書(運転免許証、パスポートなど)
 - 印鑑
 - 母子健康手帳

- 情報収集用品**
- 携帯電話(充電器を含む)
 - 携帯ラジオ(予備電池を含む)
 - 家族の写真(はぐれた時の確認用)
 - 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
 - 広域避難地図(ポケット地図でも可)
 - 筆記用具

- 飲料品**
- 非常食
 - 飲料水

- 防災ずきんかヘルメット
- 懐中電灯(予備電池を含む)
- 笛やブザー(首を出して居場所を知らせるもの)
- 万能ナイフ
- 使い捨てカイロ
- ビニール袋
- アルミ製保温シート
- 毛布

- 便利品**
- スリッパ
 - 軍手か皮手袋
 - マッチかライター
 - 給水袋
 - 雨具(レインコート、長靴など)
 - レジャーシート
 - 簡易トイレ
 - わりばし・紙の皿やコップ
 - 携帯コンロ

- 清潔・健康用品**
- マスク
 - 消毒液
 - 体温計
 - 石けん
 - 救急セット
 - 常備薬、持病薬
 - タオル
 - トイレ用ペーパー
 - 着替え(下着を含む)
 - ウエットティッシュ

- その他**
- 紙おむつ(幼児用、高齢者用など)
 - 生理用品
 - 粉ミルク、哺乳瓶(赤ちゃんに必要なもの)
 - その他自分の生活に欠かせないもの



お問い合わせ先

瑞浪市 建設部 土木課
まちづくり推進部 生活安全課

〒509-6195 岐阜県瑞浪市上平町 1-1
TEL: 0572-68-2111
<http://www.city.mizunami.gifu.jp/>

目次

1. ハザードマップについて
2. ハザードマップ利用の手引きについて
- 3. 避難経路の記入方法**
4. 地域で実施して頂きたい事
5. ハザードマップ閲覧WEBシステムの紹介



ワーク 避難経路の記入

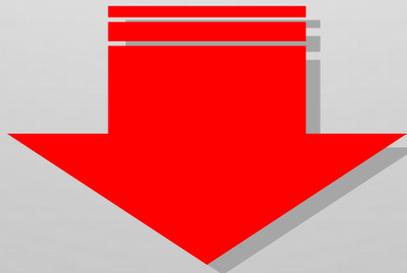
ハザードマップの目的は見るだけではなく、マップを基に自身の行動を検討し、有事に備えていただくことです。そのため配布されるハザードマップには、避難経路は記載していません。

市民の皆さんが自身の避難場所、避難経路を考え、記入していただくことで各々のハザードマップが完成します。

次のスライドから、避難経路の記入方法について詳しく説明いたします。

注) 『瑞浪市土砂災害・洪水ハザードマップの手引き』にも記載されています。

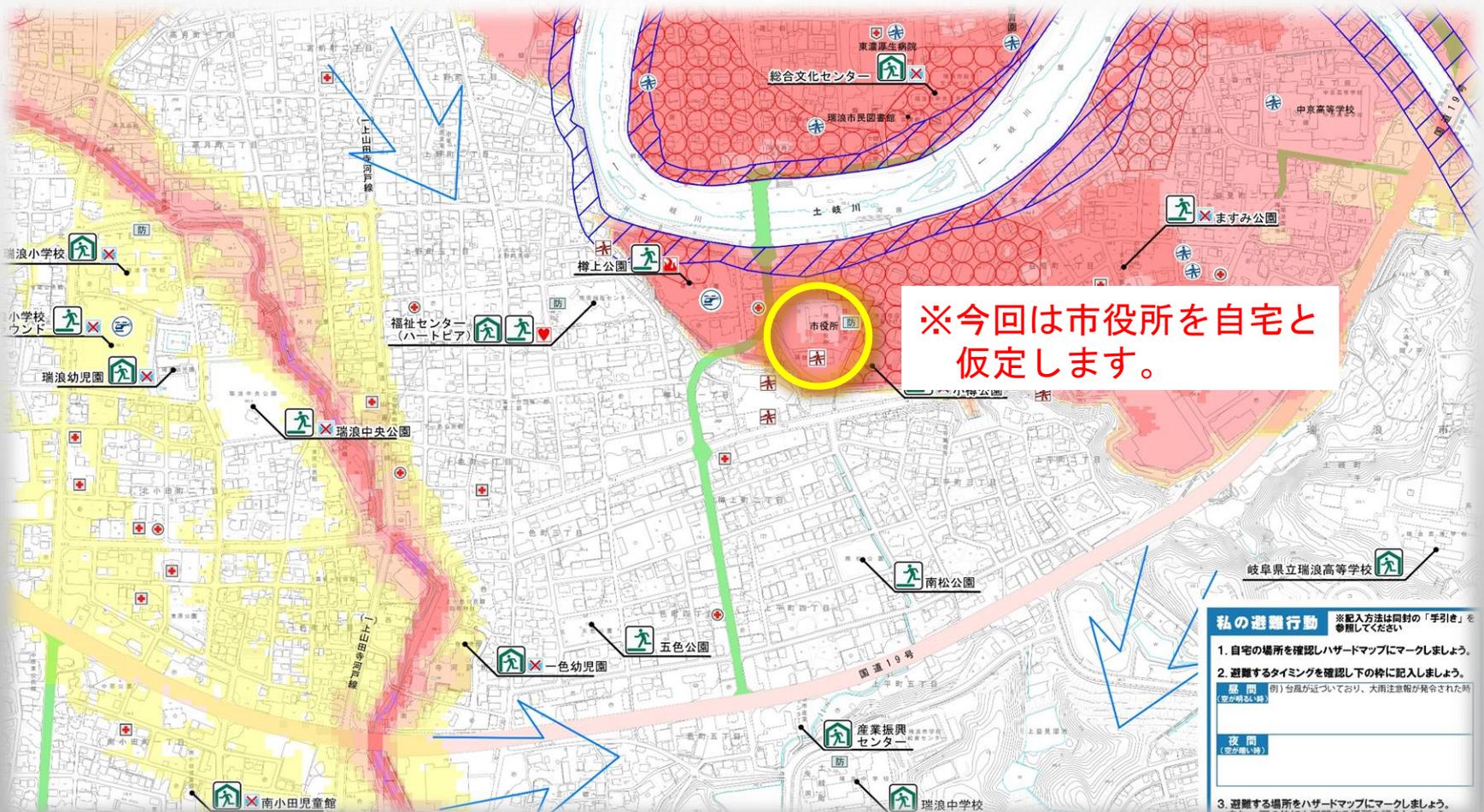
注) 記入方法の説明では、市役所を自宅と仮定し、洪水時に福祉センターへ避難することを想定しています。





ワーク 避難経路の記入

1. ハザードマップで、自宅の位置を確認し、「○」印等をつけます。



私の避難行動 ※記入方法は同封の「手引き」を参照してください

- 自宅の場所を確認しハザードマップにマークしましょう。
- 避難するタイミングを確認し下の枠に記入しましょう。
※例) 台風が近づいており、大雨注意報が発令された時
- 避難する場所をハザードマップにマークしましょう。
また、下の枠にも避難する場所を記入しましょう。

昼間 (空が晴れ)

夜間 (空が暗い時)



ワーク 避難経路の記入

3. 安全に避難できる場所を決めて「□」印等をつけ、「私の避難行動」にも記入しましょう。

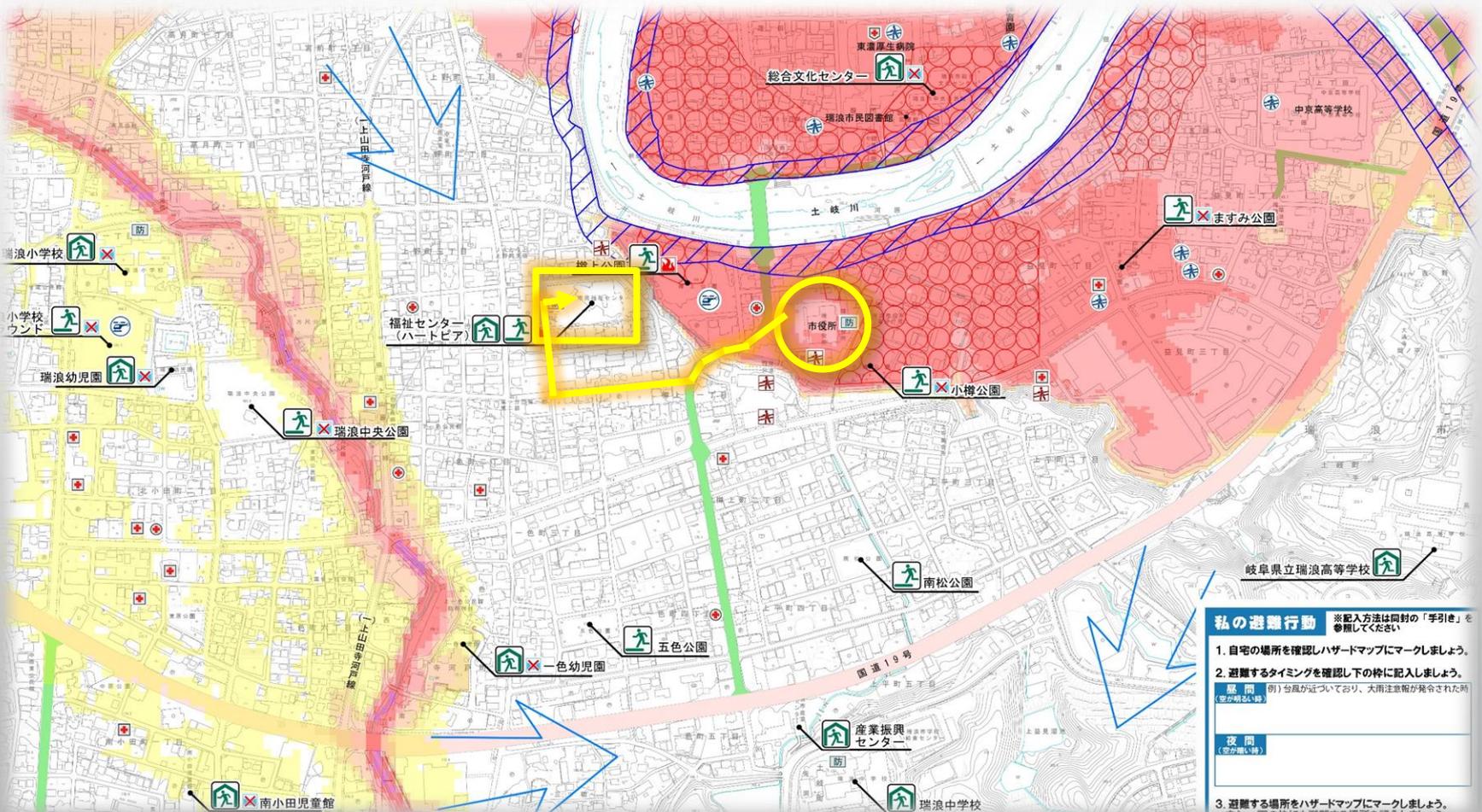
※福祉センターを避難場所とします。

私の避難行動	
※記入方法は同封の「手引き」を参照してください。	
1. 自宅の場所を確認しハザードマップにマークしましょう。	
2. 避難するタイミングを確認し下の枠に記入しましょう。	
昼間 (例) 台風が近づいており、大雨注意報が発令された時 (空が暗い時)	
夜間 (空が暗い時)	



ワーク 避難経路の記入

4. 避難場所が決まったら自宅から避難場所まで安全に避難できる経路を検討し、ハザードマップに記入します。





ワーク 避難経路の記入

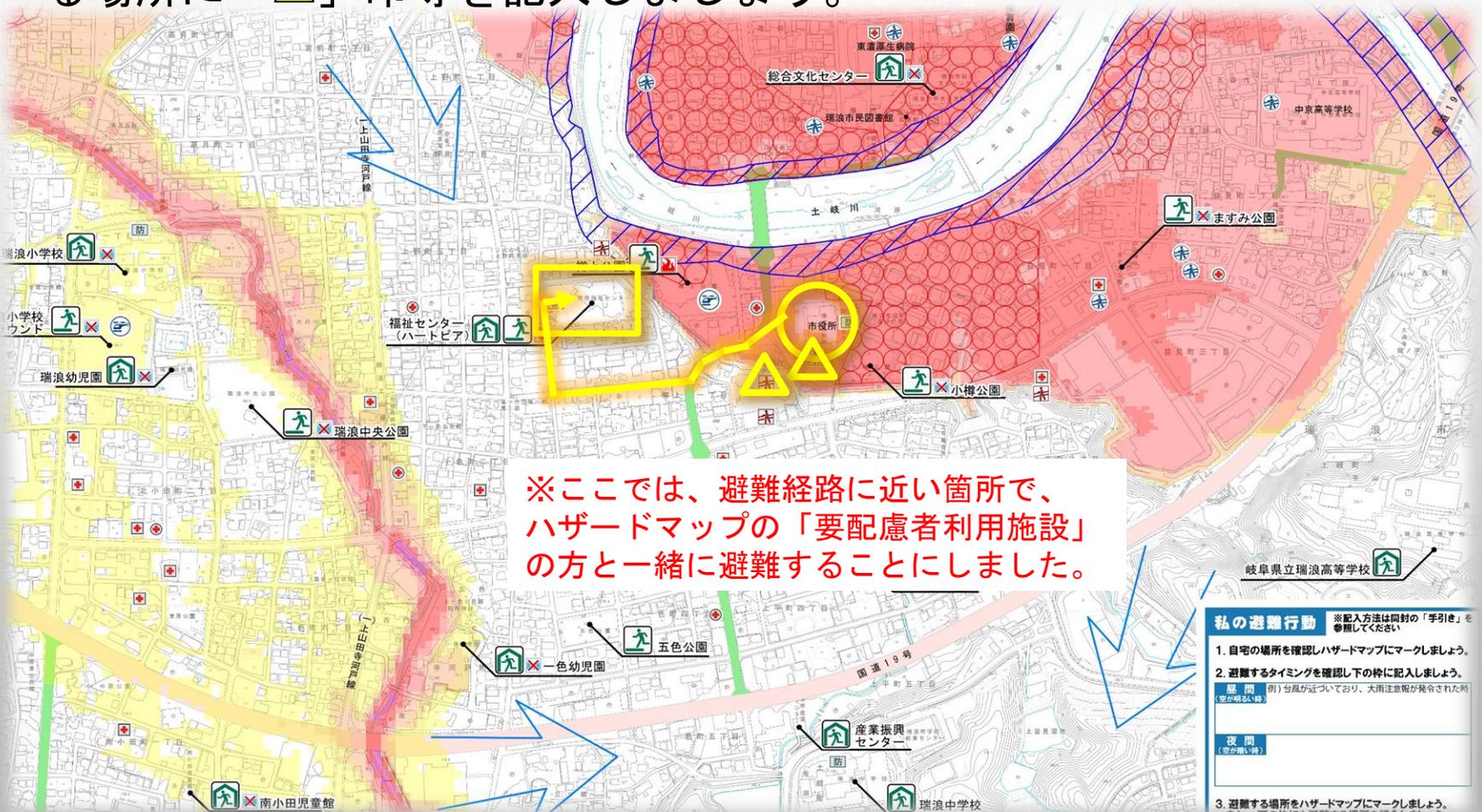
※避難場所を決める上で注意すること!!

- 避難する場所はハザードマップ上で着色がなく、水害や土砂災害の危険がない、もしくは危険が少ない箇所を選びます。
- 避難場所は、必ずしも瑞浪市が指定する場所である必要はありません。例えば家族、親せきの家、地域の集会場など。ただし、瑞浪市が指定する避難場所以外を選択した場合は、災害発生時に利用が可能な施設か、事前に確認してください。
- また、瑞浪市が指定する避難場所でも、災害の種類によっては使用できない場所がありますので注意してください。



ワーク 避難経路の記入

5. 避難する際に声かけが必要な方や、一緒に避難する必要がある方がいる場所に「△」印等を記入しましょう。





ワーク 避難経路の記入

6. 避難を開始するタイミングを空が明るい昼間と空が暗くなる夕方以降で決めて、それぞれ「私の避難行動」内に記入しましょう。

私の避難行動

※記入方法は同封の「手引き」を参照してください

1. 自宅の場所を確認しハザードマップにマークしましょう。
2. 避難するタイミングを確認し下の枠に記入しましょう。

昼間 (空が明るい時) 例) 台風が近づいており、大雨注意報が発令された時

大雨特別警報が発令されたとき

夜間 (空が暗い時)

台風が近づいており、大雨注意報が発令されたとき

3. 避難する場所をハザードマップにマークしましょう。また、下の枠にも避難する場所を記入しましょう。

避難場所 例) ○○公民館、^^小学校グラウンド、姉の家

福祉センター (ハートピア)

4. 避難ルートをハザードマップに記入しましょう。

目次

1. ハザードマップについて
2. ハザードマップ利用の手引きについて
3. 避難経路の記入方法
- 4. 地域で実施して頂きたい事**
5. ハザードマップ閲覧WEBシステムの紹介

地域ごとで実施

自助・共助を強化していくためにも、地域の自主防災会、防災士を中心に、このハザードマップを活用し、以下のような取り組みを実施していただくことをお願いさせていただきます。

- 各家庭での避難行動、避難経路の記入（家族防災会議）を推進
- ハザードマップを基にした地域での
DIG（災害図上訓練）、災害避難カード作成講習の開催
- 要配慮者の把握と支援担当の検討



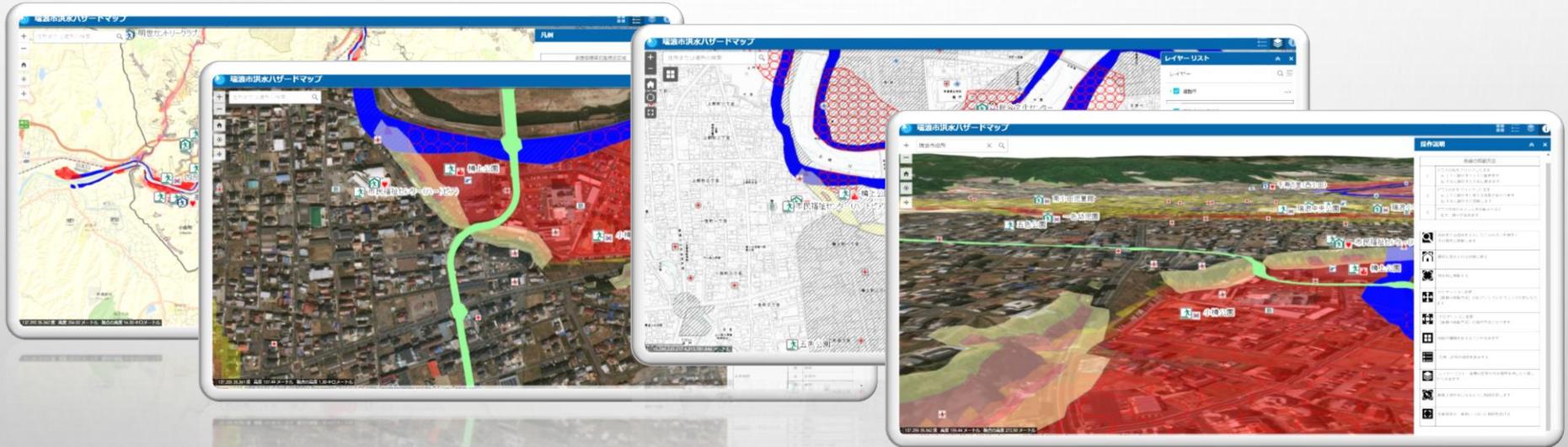
身近にひそむ災害のリスクを知り、
早めの避難手順を、「自分自身・地域」で考えましょう！

目次

1. ハザードマップについて
2. ハザードマップ利用の手引きについて
3. 避難経路の記入方法
4. 地域で実施して頂きたい事
5. **ハザードマップ閲覧WEBシステムの紹介**

WEBからの閲覧システムの紹介

作成したハザードマップをインターネットを利用してパソコンやスマートフォンから閲覧できます。「マップを拡大縮小してはっきり見たい」「ほかの地域も見たい」「立体的に地図を見たい」と思われる方へ向けて、シームレスに移動が可能なデジタルマップをご用意しました。



地図と写真の切り替え、地図の拡大縮小、住所検索機能、3D表示などが操作可能

瑞浪市公式ホームページよりシステムの閲覧が可能となります。



瑞浪市ハザードマップ閲覧システム

検索



お問い合わせ先

「瑞浪市土砂災害・洪水ハザードマップ」についてのご質問やご意見は、
下記のお問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。



建設部 土木課

まちづくり推進部 生活安全課

〒509-6195 岐阜県瑞浪市上平町1-1

TEL : 0572-68-2111